

Igroup

communication

Special **11**
2024年4月30日発行

一人ひとりの一隅を
照らし続ける。



【特集】

退居者インタビュー

法人内の支援者への取り組み

アンケート実施

BOOK CAFE PERCH

| 桜フェスタ開催

NPO法人 アイグループ

〒816-0848 福岡県春日市白水池2丁目14
TEL:092-710-0013 www.npo-aig.jp

見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。



■ 退居者インタビュー

ぶつかりあいながら“新しい自分”を作れた2年半

こまつ
小松 友愛

アイグループの「えん」に来る前は施設で暮らしていたので、以前いた場所と比べると当初は解放感かものすごくありました。でも自立援助ホームってそのままの言葉通り、自分で目標を持つ、自分で何かをする場所で、生活していく上でスタッフやホーム長とぶつかり合うことも多々ありました。

ホームに帰るとスタッフの方は「おかえり!ご飯食べる?」って毎日言ってきてくれたり、「お腹空いた」と言ったら温かいご飯が出てきたり、自分がきつい時には黙って相談に乗ってくれたり、間違ったことをしたりすると本気で怒ってくれたり、色んなことで沢山助けてもらうことが多かったです。

ぶつかり合うことが増えたその頃の自分はまだ16、17歳ということもあり、家出や自殺未遂までしてしまったことがあって色々な人に迷惑をかけて、心配させてしまいました。

その時にスタッフさん方の優しい言葉がまた新しい自分を作ってくれました。

何かを言われたり、何かをしてもらえたりすることが当たり前に見えるような生活を2年半、過ごすことができました。

一昨年の11月からホームを出て一人暮らしを始めました。いざひとりになってみるとものすごく寂しいし、えんに帰りたいってなることも何回もあって、その度に泣いたこともあります。

振り返るとホームでの生活に、門限があることも、ルールがあることも、スタッフさん、ホーム長が何回も同じことを言ってきたりするのも、ホームを出てからの自分に意味のあることだったんだなとやっと分かりました。

あの時、スタッフさんやホーム長は、将来の自分のために言ってきてくれたんだなと実感しています。

今はバイトをしながら一人暮らしを頑張っています。



■ 法人内の支援者への取り組み

今年4月より以下のとおり環境を整えました。

- ①就業規則の改定
- ②委員会の設置
- ③人事考課制度の導入
- ④同一労働同一賃金へ調整

就業規則は同一労働同一賃金に合わせて整備し、若年支援部ではフレックス制度を取り入れて有意義な時間の活用を試みます。

委員会は直接支援・経費支援金・研修整備・情報の4部門を創設し、キャリアアップを目指せるように整えました。

人事考課制度は自己点検シートによる1次考課、2次考課を行い公平な労働環境を提供する為に設けました。

また、個別対応職員の配置・自立支援担当職員の増員・BOOKCAFE・若年支援部等の自立援助ホーム内の管理者・指導員・補助員以外の支援者を増やしています。

今年からビジネスマナーや接遇講習会も行い、支援者にとっても資質の向上を図れるように調整しました。

ホームに入居していた方が当法人の職員になり、支援にかかわっていただく機会も増えています。

とても嬉しく思いますし、私たちが開設当初から掲げた思いが実現していくことに喜びを感じています。

代表者が管理者を兼務することも少なくなりました。管理者を託すことは、その管理者へとても負担を与えます。これまで

管理者になった途端退職をしてきた方を見送ってきました。今回は、2~3年は伴走することを伝えてお願いしました。補助員の頃から法人が目指す支援のあり方を実現する為に

一緒に悩んできた方を中心に人選しました。入居者の成長を見守ると共に、支援者の成長も楽しみます。



■ アンケート実施

当法人の入居者を対象に昨年からアンケートを実施しています。
今回はその内容と4月からの入居者への取り組みについて
お知らせいたします。



【4月からの取り組みについて】

当法人は利用料金を徴収していません。

今年度一般生活費の引き上げに伴い、以下のことも入居者へ提供します。

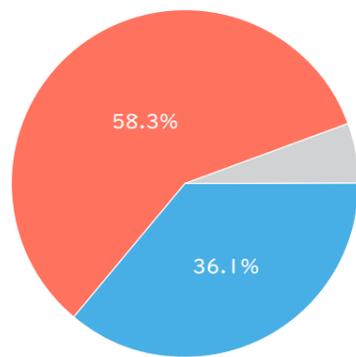
- ① 入居期間は20カ月を原則として、退居後のassist roomへつなげて20代までの継続支援を行う。
- ② 20歳以上の入居者は、3カ月毎の契約見直しを行いながら自立を目指す。
- ③ 特別な理由に該当する入居者には、生活費(10,000円を上限に)支給を行う。
- ④ スマホ代上限3,000円を支給。

アンケート結果

食事の提供についてお伺いいたします。

昨年と比べてどのように感じるか

一番近い項目を選択してください。(36件回答)



- 昨年よりもよくなった
- 昨年と変わらない
- 昨年より劣っている

- ・美味しいです
- ・食べたいもの聞いてくれるし、胃腸の調子が良くない時に胃に優しいものを作ってくれる
- ・変わらん
- ・美味しくない
- ・おいしい
- ・毎日とても美味しいご飯を作ってください、色々な種類の料理が出てくるので毎日楽しみです!!
- ・ここに来て嫌いな食べ物が減った
- ・いつもごはんおいしいですありがとうございます
- ・ご飯美味しいです
- ・特になし
- ・いつもどおり
- ・よくわからんです
- ・おいし!!!!
- ・バランスよくとても美味しいです。

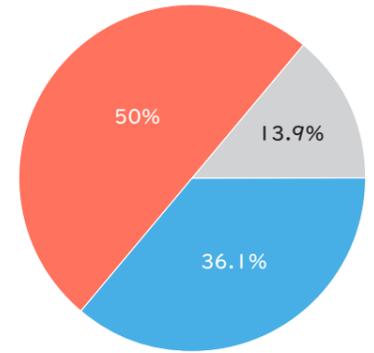
※コメントを一部紹介しています。

アンケート結果

相談についてお伺いいたします。

昨年と比べてどのように感じるか

一番近い項目を選択してください。(36件回答)



- 昨年よりも相談しやすくなった
- 昨年と変わらない
- 昨年より相談しにくい

- ・とてもいい環境です
- ・なんでも聞いてくれるから居心地いいです
- ・変わらん
- ・職員全員ではありませんが相談しにくいです。
- ・ホームのこや職員さんとも仲良くなり相談しやすくなった
- ・特になし
- ・慣れてきた
- ・職員さんとも普通に話せるしはなしやすい

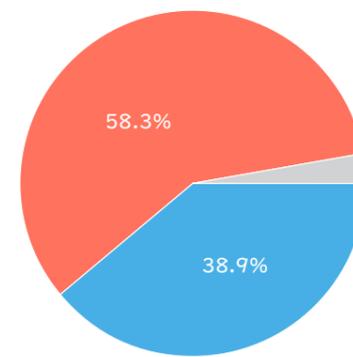
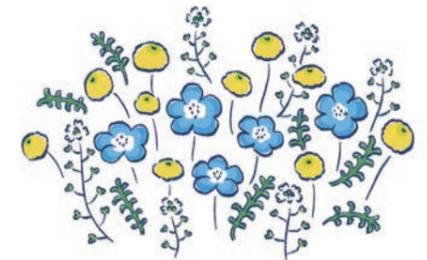
※コメントを一部紹介しています。

アンケート結果

行事についてお伺いいたします。

昨年と比べてどのように感じるか

一番近い項目を選択してください。(36件回答)



- 昨年よりも満足した
- 昨年と変わらない
- 昨年より不満です

- ・いちご狩りたのしかった
- ・昨年はあまり参加していませんでしたが今年度は少しずつ参加してます!!
- ・パーティの花見会や初詣などを行ってとても仲が深まった気がします
- ・もっといろんな行事をしたい
- ・月1の福岡嬉しい

※コメントを一部紹介しています。

■ アンケート実施

今後期待したい、相談したい内容など
ありましたら記入してください。

- ・奨学金
- ・動物を飼ってみたいなーと思ってます!!相談したいことは将来のことです!



自立支援について

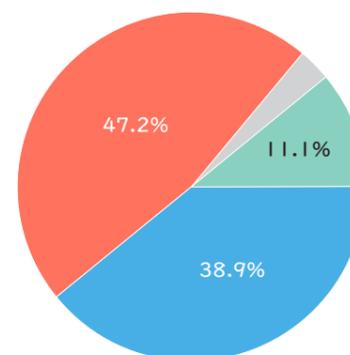
どのような支援を求めているのかを教えてください。

- ・アルバイトでも自立する時の支援をして頂きたいなと思ってます。
- ・経済的な支援
- ・税金について学びたいです。
- ・子供たちが自立できる支援を求めています!
- ・一人暮らしの不安な点等支えてほしい
- ・一人暮らしをするうえでの全体的な金銭面を知りたい。
- ・施設を出たあとでも自分で生活できる能力を身につけられる
- ・今のままで大丈夫
- ・進学する為に貯金や勉強を頑張りたいです。
- ・放置
- ・バイトの面接の練習
- ・アドバイスがほしいです
- ・メンタルサポート
- ・自立のための支援
- ・金銭問題
- ・勉強とバイトの両立
- ・料理の作り方
- ・学校卒業できるような支援



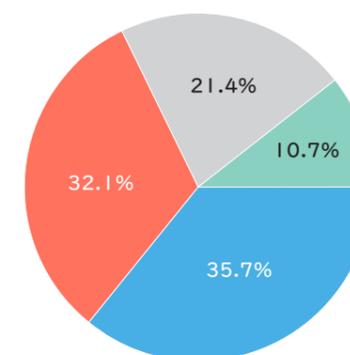
アンケート結果

現在の自立支援の
満足度を教えてください。
(36件回答)



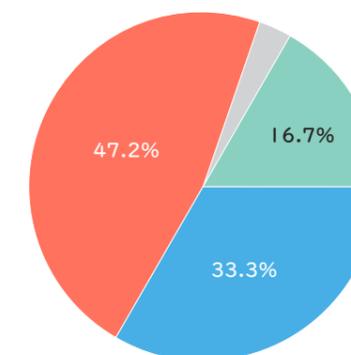
- 満足
- 期待通り
- 自立支援を望んでいない
- 不満

現在の就学支援の
満足度を教えてください。
(28件回答)

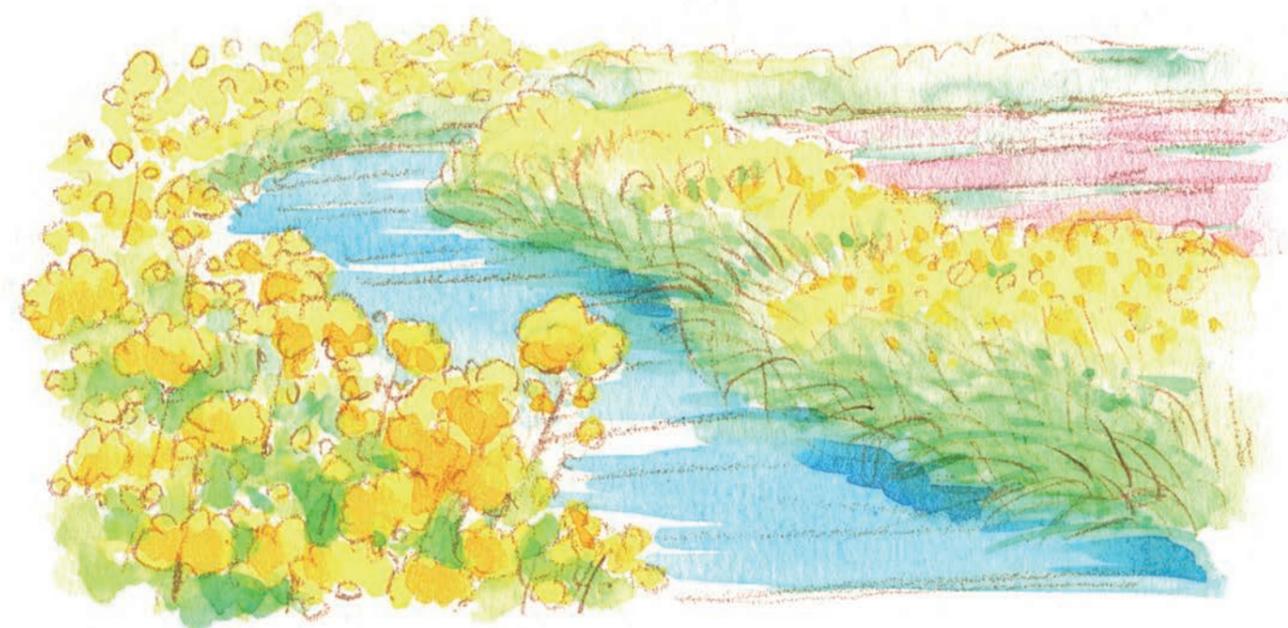


- 満足
- 期待通り
- 就学支援を望んでいない
- 不満

現在の生活支援の
満足度を教えてください。
(36件回答)



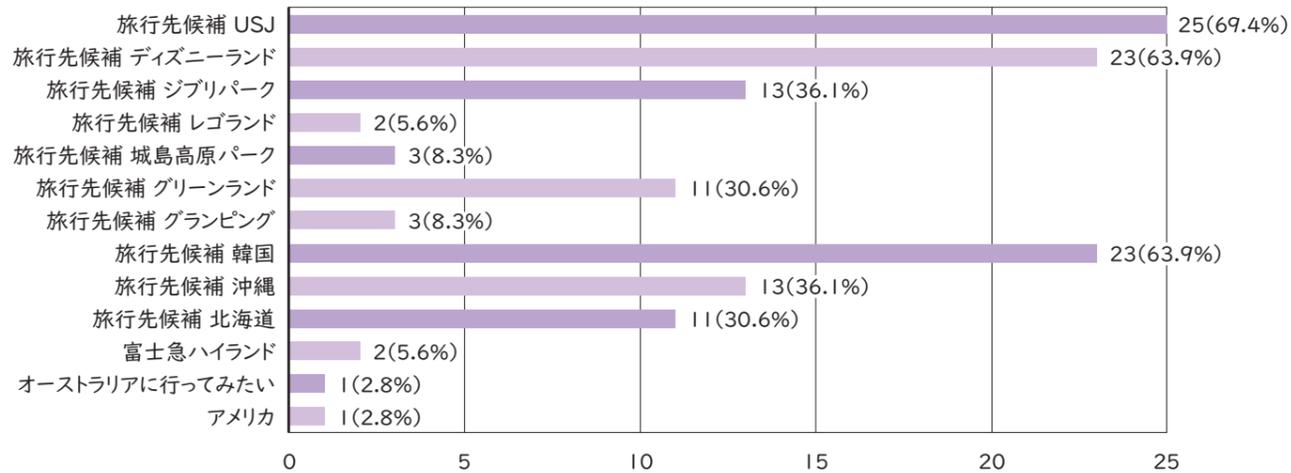
- 満足
- 期待通り
- 生活支援を望んでいない
- 不満



■ アンケート実施

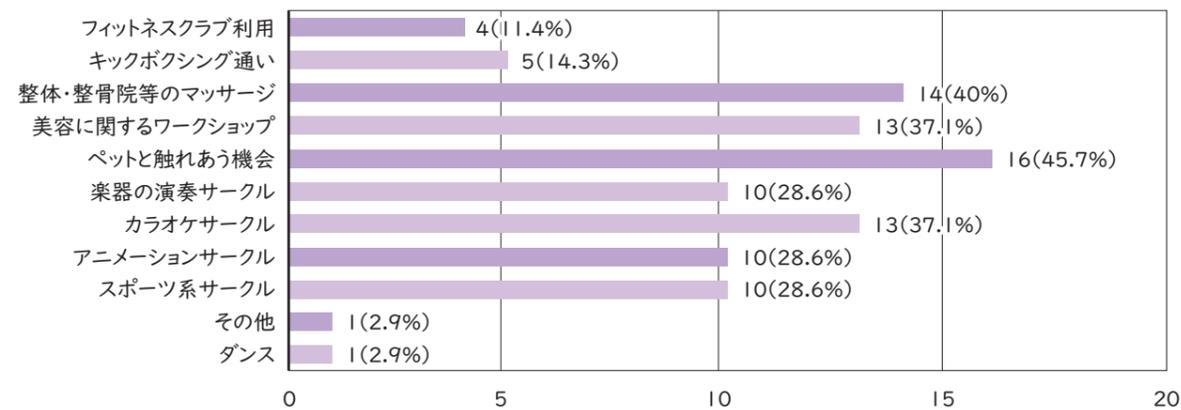
アンケート結果

以下の旅行企画の中で興味があるものを選択してください。(複数選択可)
(28件回答)



【アンケート結果】

以下の企画の中で興味があるものを選択してください。(複数選択可)
(35件回答)



■ PERCH 桜フェスタ開催

PERCHは、春日公園という大きくて緑豊かな公園の近くにあります。春のイベントは、春日公園の桜の時期に合わせて、屋内外で楽しんでいただけるイベントを企画しました。が、今年の桜のご機嫌がなかなか読めず、開花の時期とは少しずれてしまいました。さらには、菜種梅雨、桜雨という言葉があるように、春は雨の季節でもあります。2日にわけて企画したイベントの両日も、あいにくの雨となってしまいました。外で楽しむことはできなくなりましたが、室内でのゲームコーナーからは、はずんだ笑い声が聞こえてきました。また、今回のイベントの目的のひとつもあった「PERCHのランチ」のお披露目で、みなさんに出来立てのランチを楽しんでいただくことができました。わたしたちスタッフは初めてたくさんの方に料理を提供するというので、準備に調理にてんやわんやで、緊張と不安が入り混じり、力が入ってしまいました。それでも駆けつけてくれた子どもたちや、ホームのスタッフのみなさんからの「がんばってください!」「おいしい!」「写真通りでいい感じ!」などの温かな励ましに助けられ、なんとかお食事を提供することができました。

PERCHでの飲食は、アイグループのホームに入居したことがある方や、そのご家族・パートナーであれば、費用を負担することなく楽しんでいただくことができます。それは、ホームを巣立ってから、何か困ったことがあったら立ち寄ってほしい、元気な顔を見せてほしい、ずっと応援していきたい、そんな気持ちからの活動です。ランチを食べてくれた子どもたちがホームを巣立ってから、またPERCHでご飯を食べたいな、誰かと話したいから寄ってみようかなと思ってもらえるような場を作りたいと改めて感じました。

雨の中、近隣のホーム以外にも、北九州、中間市、熊本から駆けつけてくれたみなさん、そして遠くから、また赤ちゃん連れて来てくれたOGの子たち、本当にありがとうございました!今回都合が合わなかった方も、次回のイベントも頑張る予定です。その時にはまた来てくれたらうれしいです。近くのホームの子どもたちには、これからもぜひ気軽にランチを食べに来てほしいです。



春日公園の桜。
イベントの翌週にきれいに咲いていました

屋根にのぼり、雨よけの修理をしてくれる頼もしい姿が見られました。

自 立援助ホームには個性あふれる子どもたちがいます。お料理やお菓子作りが得意な子、お化粧やネイルが上手な子、絵や裁縫が得意な子と多種多様です。女子ホームのため得意なことや好きなことはこのような感じが多いのですがめずらしい得意分野を持つ子もいます。中には、壊れた物を直す等の作業を好む子もいました。

最近でいうと、えんの屋外にある庇(ひさし)(雨除けの屋根)に破損があり雨漏りをしていて困っていたのですが修繕していただくことができました。普段の仕事も現場仕事で男性に交じり働いています。壊れた雨除けを見兼ねて自ら修理を申し出てくれました。材料を購入する際にもプロが購入するお店に行き、材料も手慣れた感じで揃えていました。家の屋根をつたい雨除けを直す姿はとてもたくましく、普段の仕事での頑張っている姿が想像できました。18歳になり退所を目前にした時、何か役に立つことをしたいとの気持ちでの作業でした。とても有り難かったです。3月には高校卒業、退所、そして18歳の誕生日を控えていたため、



皆で食べ放題のお店で3つのお祝いをしました。パースデーサービスでお店からいただいたケーキをかかえ笑顔で写真撮影に出来る顔が印象的でした。いつも子どもたちとはしゃいでいる姿よりも毎日仕事をしていて大人びた彼女の姿を見る事が多かったため、最後に新たな一面をみることができて嬉しかったです。「退所してからが本当の関わり」と話を聞くことがあります。短いホームでの生活でしたが共にした経験や大人からの言葉が、いつか彼女の力になってくれればと思いつつ見送りました。



いちご狩りに誕生日会。普段とは違う時間を共有することで関係性を深めていきたいです。

ホーム内にも小鳥のさえずりが聞こえ、春の訪れを感じる季節になりました。

現在テンポラリーでは5名の子どもたちが生活しています。3月には2度イベントをおこないました。1つ目のイベントはいちご狩りです。スタッフ2名と子ども2名で久留米市にあるいちご農園にかけました。大きなハウス内に入ると真っ赤に実るたくさんのいちごがあり子どもたちだけでなくスタッフもテンションがあがります。食べ放題だったため昼食が入らないくらいお腹一杯食べることができ大満足な一日になりました。

2つ目のイベントは誕生日会です。3月で17歳を迎える子がいました。テンポラリーで生活を初めて2度目の誕生日です。本人の希望がスタッフと焼肉を食べることだったため、ホーム近くにある焼肉屋さんでランチをしました。食事をしながら日々のことや過去のこと、またこれからのことを話しながら楽しい時間を過ごすことができました。誕生日だからこそその想いや今後に向けての決意を再確認できる機会でもあります。一緒に過ごす時間の中で普段聞く



ことのできない想いや感情に触れることができる大切な機会です。今後も子どもたちとの関わりを様々な形で持てるよう時間を作っていけたらと考えています。

誕生日は生まれてきてくれた大切な日です。様々な事情がありテンポラリーで生活している子どもたち。自分の誕生日が嫌いな子もいます。生きることは楽しい、生まれてきた日に喜びや感謝を感じてもらえるよう、イベントや日々の生活を通して支援していきたいです。

卒業そして新たな春の出会いに。

早いもので季節は春を迎えようとしております。まだまだ肌寒いですが、LUCKでは卒業式を迎えた子、4月から専門学校へ入学する子、進級する子、就職する子たちがいます。今回は卒業祝いとひな祭りを兼ねて、子どもたちと職員でお寿司を食べに行きました。子どもたちは、すごく喜び「美味しい!」とよく食べ、よく飲み満面の笑みでした。いつもあまり食べない子も次々に注文し楽しそうに過ごしておりました。

来年、高校を卒業する子がいるのですが「私の卒業祝いも、みんなと一緒に来たいね」と言って、その場を和ませる場面もあり、日々の成長がみられる一面もあり嬉しくなりました。4月に入り、子ども達にとっての新しい環境の中でのスタートとなり、不安もいっぱいあるかもしれませんが、子どもたちが困っていたら、寄り添い支えながら、少しでも安心して過ごせる居場所になるよう、これからも子どもたちの気持ちを大切に生活できれぱと思っております。日々、子どもたちの『自立していこう』という姿勢がすごく見られます。



LUCKでは、19歳の子どもが何名かいるので、このホームに間に何か楽しい思い出を作れればと思っております。そして、LUCKを退所して新たな道へ進む時がいつかは来ると思いますが、いつでも頼って欲しい、職員の事を思い出して欲しい、という気持ちでいっぱいです。これからも子ども達に「このホームで良かった」と思ってもらえるような支援、取り組みが出来たらと職員一同思っております。

一緒に調理をしたり、誕生日会を楽しんだり。今後もアットホームで安心できる場所でありたいです。

入居児童が入れ替わり、現在5名で生活しているテンポラリー小倉北です。定時制に通いながらアルバイトを頑張っている子や、Wワークを頑張っている子など、さまざまな生活スタイルの子どもたちがいます。

いちご狩りに行きました。全員いちごが大好きなので、みんなでお腹がパンパンになるまで食べていました。アルバイトで参加できずに残念そうにしていた子どもたちには、お土産を持ち帰りホームで堪能していました。

自立に向けて自炊ができるようになりたいという子が居る為、一緒に調理することが増えてきました。ホームに来て初めて調理をする子もいて、包丁の持ち方から練習し、野菜の切り方もだんだん上手になってきました。積み重ねていくことで、成長を感じています。2月はMさん、Yさんと2回お誕生日パーティーがあり、賑やかにす



ごしました。お誕生日パーティーでは必ずといっていいほどサーモンがリクエストされ、あっという間に食べてしまいます。Yさんはお祝いされるのが恥ずかしいからいつも通りにしてといていましたが、みんなからおめでとうと言われるとはにかみながら嬉しそうにしていました。

今年度も変わらず家庭的でアットホームな場所、安心できる場所でありつづけられるように、子どもたちと共に成長していける小倉北でありたいと思います。

Permit

開所から1年!柴犬のこてつも1歳に。 みんなを明るく元気してくれます。

開 所から1年が経ちました。子どもたち、職員共に初めまして!から四季を通じて色々な経験ができました。慣れない環境での生活は日々試行錯誤を繰り返し、少しずつPermitらしさを創りつつあります。職員は子どもたち各々の個性を尊重し、温かく見守り続けています。そうする事で、安心感と共に、自分の居場所を確立してもらえれば…との思いで日々奮闘しております。決して無理強いはいしません。

お誕生日のお祝いや季節の行事は子どもの個性がよくみえる機会でもあります。基本的にはみんなでワイワイ楽しみたいところですが、そうした派手な事は好まないという子もいます。そんな時は、さりげなく…でも心からお祝っている事、大事に思っている事を伝え、少しずつ距離を縮める機会になっていると感じています。桃の節句には小さな小さなお雛様ですが飾り付けをし、その意味合いを伝えました。あまり興味のない素振りでも、表情が和らいでいくのを感じました。



また、柴犬の"こてつ"も大きな役割を果たしてくれています。4月によくやく1歳になる仔犬ですので、やんちゃでお世話が大変ではありますが、可愛くてみんなを明るく元気してくれます。今後も日々の当たり前の生活を繰り返しながらも、色々な事を共有、体験し、人間も動物も共に成長していけるように頑張ります。



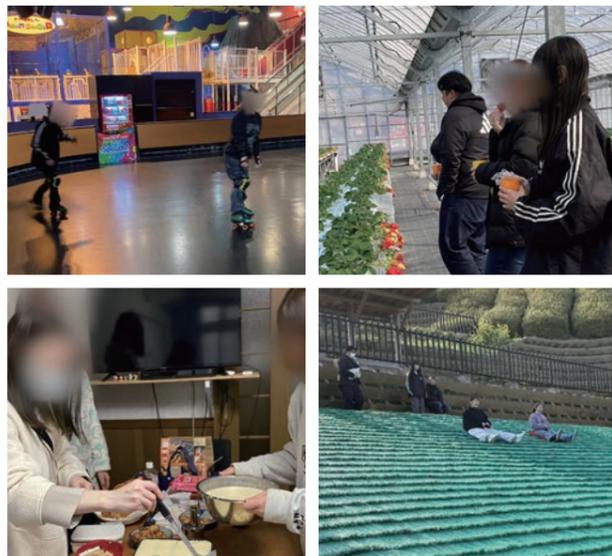
自立援助ホーム inn

いちご狩りへの外出や、 ホーム前の海で魚釣りも楽しんでいます。

i nn近くの川沿いにある桜並木。今年は例年より遅れた開花となりましたが、美しい桜がinnのみんなに春を届けてくれました。

現在innでは6名の女子児童が在籍し、学校に行ったりバイトをしたりしてそれぞれが自立の準備のため生活しています。3月の始めには、児童4名職員2名で佐世保までいちご狩りに行きました。「もう食べられない」と言うまでお腹いっぱい食べました。帰りには西海橋公園に行き、草スキーで何度も転んだりしましたが、みんなで速さと距離を競い合って盛り上がり、楽しい思い出になりました。

日常では、バドミントンや目の前の海で魚釣りをすることが楽しみとなっています。釣果は、たまにフグが釣れるくらいで、大物はまだ釣ったことがないですが、釣れなくても穏やかな大村湾の海を眺める時間が癒しとなっています。



別れと出会いがあるこの季節に、innの児童も1名退居し県外で新たな生活を始めています。退居した児童に限らず「これからの出会いを大切に、たくさんの人に出会い、たくさんの人を見て、学び、自分を磨く意味でいろんなことにチャレンジして欲しい」というのが職員の願いです。楽しい事ばかりではないですが、不安な時や苦しい時は一人で悩まず、頼って欲しいと思います。

自立援助ホーム ラブ

新メンバーも参加した いちご狩りで仲が深まりました。

昨 年の年末から3人の子どもたちが加わり、ラブは現在計5名で暮らしています。アイグループでは各ホームで考案したイベントが毎月行われており、2月はいちご狩りに行きました。入居してまだ二週間も経たないKさんは、普段人見知りをする一面が見られますがその日は自然と周りに溶け込んでいて話も弾んでいました。また、いちご狩りが初体験ということもあり楽しい思い出を作る事が出来て嬉しく思いました。3月は、ひな祭りと卒業のお祝いを行いました。定番のひなあられや伝統料理を一通り準備して、ひな人形はAさんと一緒に折り紙で手作りしました。はまぐりのお吸い物は美味しかったと喜んでくれました。そして、何とんでも高校卒業を迎えて卒業証書を見せた時のあの嬉しそうなMさんの表情は印象に残っています。「学校に行きたくない」と言いながらも準備をして自分を鼓舞して登校していた日を懐かしく思い、また一つ成長している姿を間近で見る事ができて胸がいっぱいになりました。

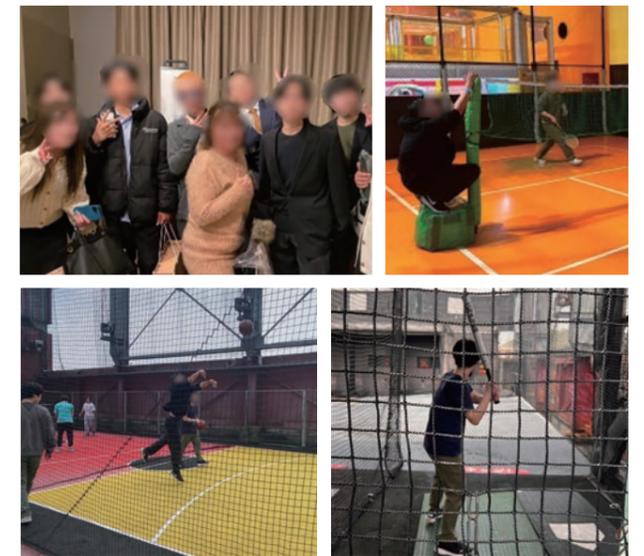


そうして4月を迎え、新年度が始まりました。進級して環境を変えたMさん。しばらく登校せずに通信で学校のレポートを提出していましたが、友人の声かけもあり再度登校することになりました。一歩ずつ前進しています。今後、時には後退することもあるかもしれませんが、そんなことも含めて成長だと思っています。今年度、私たちラブの職員も子ども達と共に前進していき、これから子ども達を支えて「ラブは安心できる楽しい居場所」だと感じてもらえるように日々関わり過ぎていきたいです。

自立援助ホーム 庵

新メンバーの不安を取り除き、 みなと安心して過ごせるよう 見守っていきます。

春 の日差しが心地よい季節となりました。現在庵は6名の児童が入居しています。3名はそれぞれアルバイトを頑張っています。そして2名は入所したての15歳と18歳の児童です。入所したてで何を頑張りたいのかやりたいこともよくわからないが、最終目標は就職だと18歳の児童は話してくれました。その児童がやりたいことが見つかれば、目標が定められるよう就職や一人暮らしに向けてのサポートできればと思います。好き嫌いも激しいと話しています。少しでも嫌いなものが減るよう料理方法や栄養も考え、退所までに嫌いな物が少しでもなくなるようになって欲しいと思っています。また15歳の子もこの4月に入所しました。不安や分からないことがまだ沢山あることだと思います。そしてこれから悩みも沢山出てくることだと思います。コミュニケーションを大切にし、その子が何に困っているのか必要な支援は何なのか考え、まずは寄り添っていき



たいと考えています。そしてその不安を少しでも取り除き、安心して過ごせる場所と思えるようなホームを目指します。また昨年よりイベントも増やすことが出来ました。今年の目標は、イベントの計画をするところから子どもたちが参加できるようにすることです。新しく職員も増えたので、沢山話をして笑顔あふれる温かいホームとなるよう職員一同協力し、玄関開けたら笑い声、早く帰りたいと思えるようなホームを目指していきます。

みんなで楽しんだ誕生日会。 ケーキを囲んで賑やかに過ごしました。

現 在、テンポラリくまもとでは3名の児童が生活しています。それぞれバイトや学校があり帰宅時間が違うため、たまに顔を合わせた際は、お菓子を食べてながら談笑する姿もあります。1月にMさんの誕生日がありました。その日は他のメンバーもMさんをお祝いしたいとの思いがあり「バイト終わったら急いで帰ってくるね!」と声を掛けておりMさんも嬉しそうにしていました。Mさんのリクエストでアイスクレーキや海鮮丼、唐揚げを用意し誕生日を祝いました。「海鮮丼食べるの初めてかも」と言いながら嬉しそうに食事をするMさんの姿が印象的でした。18歳という年齢を迎え、大人に近づいている喜びと不安があるようです。進路のことなど将来の事を考えて選択していかなければならない時期でもあるため、Mさんの想い描く将来像を実現していくための方法や選択肢の提案をしながら、背中を押していけたらいいなと思っています。ケーキのろうそくに火をつけ「おめでとう」を伝えると、「フーってするのはさすがに恥ずかしい」とはにかむMさんに変わり他の子が吹き消すなど、賑やかな誕生日会となりました。



イベントや行事だけでなく 日常での生活の中でも大切に 思っていることを伝えていきたいです

テ ンポラリくまもと2号室は現在3名の児童が生活しています。全日制高校に通っている子や就労活動を頑張っている子がいます。3名同じ年齢ということもあり、冗談を言い合ったり恋愛の話をしたり、適度な距離感は保ちつつ楽しく過ごさせています。「〇〇ちゃんの頑張っている姿を見て自分も頑張りたい」と話す子もおり、互いに良い影響を受けながら生活出来ているように思います。3月にAさんの誕生日がありました。誕生日当日をとても楽しみにしており、プレゼントやケーキを何にしようかとワクワクしている様子がありました。ケーキやプレゼントを職員と買いに行くという行動も「やったー!ドライブだ!」と楽しんでくれました。道中、普段は話せない事や悩みもたくさん話してくれ、何気ない時間がとても貴重なものとなりました。大人が自分の為に何かしてくれたということがAさんにとって嬉しかったのではないかと思います。



イベントや行事だけでなく日常の中でもそういった経験や思いを増やしていけたらいいなと改めて感じました。Aさんに「生まれてきてくれてありがとう!」と職員で伝えました。「ありがとう!」とAさんのかわいらしい笑顔を見ることができ、職員も幸せな気持ちになりました。

フォトコンテスト

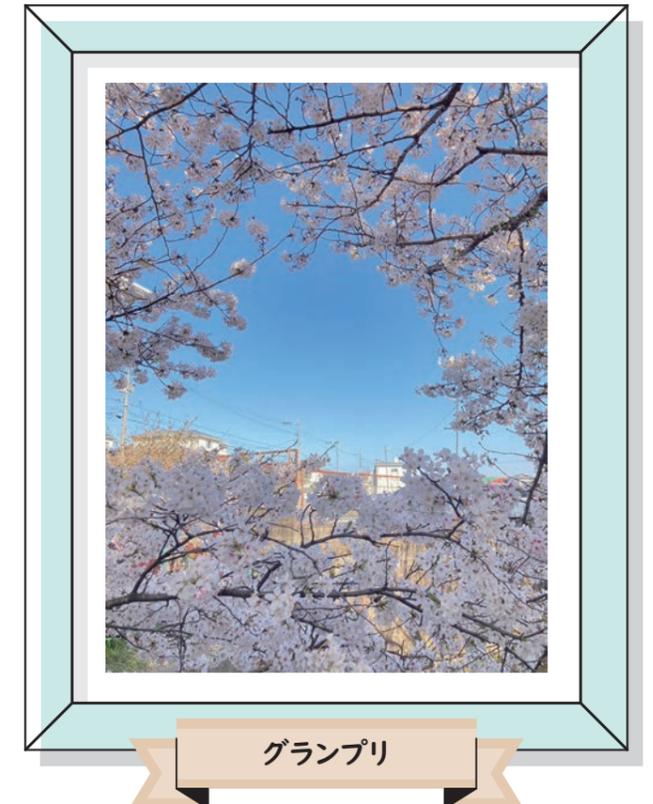
フォトコンテストを開催いたしました。
「桜の花や、春の風景など、春を感じるもの」を募集いたしました。

募集をしていたフォトコンテストの選考を行い受賞された内容を掲載いたします。

みなさんの「春を感じる」作品がすばらしく、ホーム名・氏名を伏せた上で投票で選考しましたので、複数の受賞となった子もいます。

賞品はよろこんでいただけたいでしょうか。
たくさんのご応募、ありがとうございました!

H・Iさんの作品 (えん)



- グランプリ H・Iさん (えん)
- 準グランプリ R・Hさん (えん)
- 優秀賞 R・Hさん (テンポラリくまもと)
- 理事長賞 R・Hさん (えん)
- PERCH賞 M・Mさん (ラブ)

グランプリ

準グランプリ 優秀賞 理事長賞 PERCH賞



R・Hさん (えん)



R・Hさん (テンポラリくまもと)



R・Hさん (えん)



M・Mさん (ラブ)